



撮影場所：三島公園周辺

平成 27 年第 4 回定例会は、去る 12 月 8 日から 24 日までの 17 日間の会期で開かれました。

今定例会には、平成 27 年度一般会計補正予算案を初め、市長提出議案 16 件、認定 2 件、意見書 1 件、請願 6 件、陳情 1 件が上程されました。

主な内容

- ①平成 27 年 第 1 回臨時会 P35 ～ P34
- ②一 般 質 問 P34 ～ P31
- ③議決結果一覧、賛否の状況等 P31 ～ P30
- ④委員会の審査概要 P29 ～ P28
- ⑤お知らせ P27

広告

リフォーム

住む人の事を考えて
快適な暮らしを
サーブ ご提案をするワン！

真心込めたご提案 リフォームのサーブ
〒0120-046-302

西国中央市川之江町 1655-3
川之江駅通りアーケード内

興陽商事(有)

売土地募集中! 0896-58-5298

販売代理店様 募集

— 想い伝えるお手伝い。 —

少ロット **1000** 個～制作可能

オリジナル BOX
ティッシュの事なら
ヨンパにお任せ下さい。

株式会社 ヨンパ

〒790-0431 豊川町 2502 TEL 0896-25-2426 FAX 0896-25-2570

アイフルホーム 川之江店 (カジワラホーム様)

cesibo セシボは「ずっと…」がつづく家

▼ 詳しくは Web へ
スマホ対応しています

カジワラホーム株式会社 検索

愛媛県四国中央市妻島町 1210-1 TEL 0896-56-7701

平成 27 年 第 1 回 臨時会

12 月 1 日に開会されました平成 27 年第 1 回臨時会において、議長・副議長が選出されました

議長・副議長就任挨拶



議長
荻田 清 秀

議長の略歴

昭和 24 年 7 月 26 日生 (66 歳)
平成 14 年 2 月 10 日初当選
四国中央市議 4 期目
副議長
教育厚生委員会委員長
などを歴任



副議長
曾我部 清

副議長の略歴

昭和 25 年 3 月 27 日生 (65 歳)
平成 6 年 2 月 6 日初当選
四国中央市議 4 期目
建設水道委員会委員長
議会運営委員会委員長
などを歴任

市民の皆様には、平素より市議会に対し、温かい御理解と御協力を賜り、心から厚くお礼を申し上げます。

私どもは、昨年 12 月の臨時会において、四国中央市議会第 13 代議長並びに副議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄に感謝いたしますとともに、責務の重大さに身の引き締まる思いでございます。

私たち市議会は、より一層の創意工夫と努力を積み重ねるとともに、行政当局との真摯な議論により有効な政策を推進し、諸課題の解決に全力を尽くしてまいります。また、自己研さんに励み、議会の改革・活性化にも努め、市民の皆様により一層信頼される議会を目指してまいりますので、今後ともなお一層の御理解と御協力を心よりお願い申し上げまして、就任の御挨拶といたします。

常任・特別・議会運営委員会委員

◎委員長 ○副委員長

総務委員会

◎三宅 繁博
○石川 剛
三好 平
荻田 清秀
石津千代子
西岡 政則

教育厚生委員会

◎谷内 開
○山川 和孝
大野 勝
後藤 光雄
河村 郁男
篠永 誠司
三谷つぎむ

環境経済委員会

◎原田 泰樹
○国政 守
吉田善三郎
青木 永六
飛鷹 總慶
曾我部 清

建設水道委員会

◎石川 秀光
○眞鍋 幹雄
山本 照男
井川 剛
谷 國光
越智 滋

議会運営委員会

◎越智 滋
○山本 照男
三宅 繁博
篠永 誠司
吉田善三郎
青木 永六
飛鷹 總慶

議会改革調査 特別委員会

◎河村 郁男
○篠永 誠司
石川 剛
眞鍋 幹雄
青木 永六
越智 滋
西岡 政則

庁舎施設整備等 調査特別委員会

◎石津千代子
○大野 勝
国政 守
三好 平
山川 和孝
山本 照男
吉田善三郎
井川 剛

地域産業創生 特別委員会

◎飛鷹 總慶
○後藤 光雄
三宅 繁博
谷内 開
原田 泰樹
谷 國光
石川 秀光
三谷つぎむ

議会だより 編集委員会

◎曾我部 清
○山川 和孝
石川 剛
眞鍋 幹雄
河村 郁男
井川 剛
三谷つぎむ

議会選出監査委員



吉田善三郎 議員

医療保険が使える
訪問マッサージ
歩行困難・麻痺や拘縮等の症状の方
お電話でお気軽にお問い合わせ下さい。
※医師の同意が必要となります。
和み 四国中央店
お問い合わせ 0120-774-753

『新築』から『リフォーム』まで
おまかせください!
日新ハウジング株式会社
四国中央市中曽根町1781-3 TEL 0896-24-1010

新鮮!元氣!
JAうま農産物直販所
ジャジャうま市
9時～16時
(年末年始定休)
中之庄町1684-4
Tel:23-3377
おいでや市
9時～16時
(火曜・年末年始定休)
養鳥町1121 Tel:59-6001
ふれあい市
9時～13時
(火曜・年末年始定休)
金生町下分2550-2
Tel:58-3953

平成 27 年 第 1 回 四国中央市議会臨時会 議決結果一覧

番 号	件 名	議決結果
	四国中央市議会議長辞職の件	許 可
	四国中央市議会議長の選挙について	選 挙
	四国中央市議会副議長の選挙について	選 挙
選任第 1 号	四国中央市議会常任委員会委員の選任について	選 任
選任第 2 号	四国中央市議会議会運営委員会委員の選任について	選 任
	議会改革調査特別委員会委員辞任の件	許 可
	議会改革調査特別委員会委員の選任について	選 任
	庁舎施設整備等調査特別委員会委員辞任の件	許 可
	庁舎施設整備等調査特別委員会委員の選任について	選 任
議員提出議案第 2 号	地域産業創生特別委員会の設置について	原案可決
選任第 3 号	地域産業創生特別委員会委員の選任について	選 任

一 般 質 問



紙面の都合上
1 議員 1 問の質問を掲載
しています。

◆乳幼児の入園待ち解消について

質問 夫婦共働きがますます増えている中、乳幼児（ゼロ・1 歳）の入園待ちの現状はどのようなになっているか、3 年前に比較してどのように改善されているか、また今後の対策はどのような計画か伺う。



山川 和孝 議員

答弁 福祉保健部次長、副市長

入園申し込みが締め切られた時点で、78 名の児童が希望する保育園に入園できない状況であった。その後、年度途中の申し込みが多くあり、ゼロ歳児の入園待ちが 88 名、1 歳児が 31 名となっている。3 年前との比較では、本年度とほぼ同じ状況である。しかしゼロ・1 歳児の実際に入園している児童数を見ると、291 名から 322 名と 31 名の増となっている。今後の計画については、教育・保育施設再編計画により、ゼロ歳児からの受け入れが可能となる幼保連携型認定こども園を増設していく。また公立保育園についても、将来的に施設改修と保育士の確保により、ゼロ歳児からの受け入れが可能となるよう整備を進めていきたいと考えている。

その他の質問 ○マイナンバー制度について ○小中学校の教室にエアコン設置について
○第 2 次四国中央市健康づくり計画について

◆高齢者 2 施設（萬翠荘、敬寿園）の民間移譲は見直しを

質問 社会福祉・医療法人の 1 者へ負担軽減を理由に約 4 億 5,000 万円にのぼる提供は市民理解にほど遠い。敬寿園は介護保険とは別、市が直営でやるべき措置施設である。市は国に対し、民間優遇するのではなく、自治体の福祉行政にこそ手厚い施策を求めるべき。お年寄りいたわろう。



三好 平 議員

答弁 副市長、福祉施設課長

補助金の返還等の問題が生じることや施設の安定的運営を考慮し無償譲渡とした。措置施設は、運営母体が変わっても施設の性格に影響がなく、市内には社会福祉法人運営の養護老人ホームがある。行政では難しい医療と介護の連携、利用者の安心、安全な生活を確保するための方策として民営化を進めるものであり、高齢者を含め市民の皆様にも御理解いただけるものとする。

その他の質問 ○国道 11 号、192 号の改良計画について
○工事入札に公平・平等の大原則と透明性を

婚活パーティー開催
完全予約制です
日程 **2月28日** 申込費 **男性:5,000円**
12:00~14:00 **女性:3,000円**
会場 **レイグラツツエふじ** (新富町市道本町3-2)
ライフラインの結婚相談所 **しあわせたまご**
TEL **0897-47-0688** 西条市番多川 622-1
会場 しあわせたまご

たがみ鍼灸マッサージ院
営業時間: 9:00 ~ 12:00 13:30 ~ 18:30
定休: 木・土午後&日・祝
TEL **77-5111** 予約優先
妻島町 **2870-1**

住み慣れた地域で、
にこやかに幸せに
生活していただけます。
Sun Family
サン・ファミリア
サン・ファミリア西国中央 / サン・ファミリア プライムタイムみしま
お問い合わせは **0120-652-350**
<http://www.sunfami.net> サンファミリア

◆学校図書館について

質問 学校教育の実践において、学校図書館の活用は、豊かな人間性を培うため欠かせないものでありますので、学校図書館における学校司書の配置及び学校図書館の蔵書の充実について、どのようにお考えでしょうか。



眞鍋 幹雄 議員

答弁 教育長

現在、市内の小中学校には、司書教諭資格を持った教員が配置されている。専任の学校司書を配置することについては、人件費等、財政面の課題があるが、学校図書館運営の面で大きな効果が期待でき、重要な方策として検討したいと考えている。蔵書の充実等を含めた図書の整備については、児童生徒の知的好奇心をくすぐり、興味・関心を引く魅力的な図書などを加えながら、限られた財源の中で工夫をして図書の充実を図り、児童生徒の読書の習慣や豊かな人間性を育てていきたいと考えている。

その他の質問 ○学校給食の安全安心について ○身体障害者トイレについて
○婚活について ○地域に活力の可能性について

◆電子黒板の導入について

質問 本年度の事業状況と電子黒板設置による、小中学校の成果は、それぞれどのようになっているのかを伺う。また、書いて伝える能力については、今後どのように育成していく予定なのか。さらに今後の配置予定を伺う。



大野 勝 議員

答弁 教育部長

小学校のモデル校3校（4年生以上普通教室に電子黒板17台、算数デジタル教科書を配置）と中学校のモデル校1校（英語教室に電子黒板4台、英語デジタル教科書を配置）では、ほぼ毎日、どこかの時間で電子黒板を使用している。4校の90%以上の児童生徒が、「拡大表示や動画等があってわかりやすい。」と回答しており、学習への興味・関心の高まり、実力テスト等の正答率の向上などの成果が見られる。さらに、電子黒板と黒板を併用して学習を構成することにより、「書いて考え、伝え合う」という広がりのある学習に活用できるものと考えている。今後も、市内の全小中学校にモデル校と同様の配置が計画的にできるよう検討を進めている。

その他の質問 ○移住・定住の促進について

◆文化ホール完成後の文化協会文化祭の開催について

質問 文化ホールは、平成32年に共用開始の予定で進んでいるが、完成後の文化協会文化祭については、市民の関心や期待が高まるところである。現時点では、答弁は難しいかもわからないが、お考えだけでも伺う。



河村 郁男 議員

答弁 市長

各地域の文化協会がそれぞれの地域で日常的に文化活動を行い、各地域の施設を利用して文化祭を開催している。文化ホール完成後、当該施設をどのように利用し、文化協会の活動をどうするかは、文化協会4支部の皆さんからの提案により、市協会役員を中心に判断されると思うが、市としてもできる限りバックアップしていきたいと思う。

その他の質問 ○18歳選挙権について
○軽度生活援助事業制度の見直し

◆高齢者・障害者・外来者への交通の配慮を

質問 デマンドタクシーはエリアによって利便性に大きな差があり、料金が高い、乗りかえが不便、休日はだめなどの苦情が多い。車椅子の障害者はなおさらで改善が必要である。また今後四国遍路の外来者がふえると考えられるが、三角寺へのバスがない。市のおもてなしとして配慮が必要ではないか。

答弁 総務課長、市長

デマンドタクシーの改善については、さまざまな御意見・御要望を承っているが、地域の交通網全体のバランスを考慮し、改善が可能な点をさまざまな視点から検討したいと考えている。四国八十八箇所遍路については、世界遺産登録を目指して四国全体で取り組む遍路道等の保存や遍路文化の継承、集客やお接待運動等が進められる中で、最寄りの駅やバス路線など公共交通機関の案内等をトータル的に検証したいと考えている。



三谷 つぎむ 議員

その他の質問 ○今後の介護保険事業に求められる問題点について
○人権対策協議会などについて ○市民文化ホールや公民館などについて
○学校給食で農家を応援し、食の安全を守る施策を

◆ひとり親家庭支援について

質問 男親が子育てを楽しんでできる環境を作り、両親の子育てのストレスを減少させ良好な家庭環境の中で育った子が将来的に地元に戻り、地域の活性化につながっていくというイクメン推進と共に強力に支援しなければならないひとり親家庭を支援する制度はどうか。

答弁 市長、福祉保健部次長、こども課長



石川 剛 議員

子育て環境が充実されることは、子供の成長や健全な家族関係を築いていく上でも非常に大切なことだと考える。ひとり親家庭への支援制度では福祉施策として、児童扶養手当制度や母子・父子寡婦福祉資金貸付制度がある。また、高等職業訓練促進給付金支給制度や自立支援教育訓練給付金支援制度がある。その他に、特定者用定期乗車券制度や、ひとり親家庭医療費助成制度等がある。保育園や認定こども園の入園に際しては、優先利用の基準があるが、ひとり親家庭で働いている場合は、優先順位に加算されるようになっている。今後は、子育てマスターの養成も含め、行政と地域の子育て支援団体とが連携しながら支援の輪を広げる活動を行いたいと考えている。

その他の質問 ○地域防災と地域の学校との関連について

○福祉施設における要配慮者の避難方法について

◆当市オリジナルの婚姻届・出生届けについて

質問 厚生労働省の発表によると、平成26年の婚姻件数は戦後最少を記録したとのことである。婚姻届は、新たな人生の門出を迎える2人にとって重要なもので、2人の出発を応援する意味でも、当市オリジナルの婚姻届や出生届の作成について、お考えを伺う。

答弁 市民環境部長



谷内 開 議員

婚姻、出生は、人生の中でも特別な意味合いを持つイベントであり、そのような格別の機会に当市に愛着のわくようなオリジナルの届書を使用していただくことにより、定住の促進、ひいては人口減少対策の一助となることも考えられる。当市オリジナルの届書様式となると、当市のマスコットキャラクターの「しこちゅ〜」を配したデザインはもちろんのこと、子育て支援をアピールしたものや豊かな自然をアピールしたもの等を庁内各部署からアイデアを募集し、複数のパターンを作成することも想定されるところである。関係部署において前向きに検討したいと考えている。

その他の質問 ○大活字本に対する取り組みについて ○災害廃棄物の処理計画について

◆市内病院の医療体制の充実の推進について

質問 市民の皆様から、救急車で家族友人知人が運ばれたが、一刻を争うのに、市内での病院の受け入れ態勢が取れず、市外へ搬送された。医療体制をしっかりと推進してほしいという意見を聞いている。そこで、地域医療の救急医療体制について伺う。

答弁 市長



国政 守 議員

救急搬送者の傷病の程度や、病院側が既に救急患者に対応中であるなどの理由で、市内での受け入れが困難な場合もあると思うが、当面の間は、圏域内の医療機関が、それぞれの強みを持つ診療科を生かし、相互の役割分担のもと、医療機能を維持していくことが重要であると考えている。今後も、引き続き関係機関との連携を図り、市民の安心・安全の確保に努めていきたい。

その他の質問 ○児童虐待防止対策について ○子育て支援について

○地域で取り組むひきこもりの社会復帰支援について

○防犯対策について ○産学官連携の研究開発体制の構築、技術革新について

◆6次産業化支援について

質問 11月オープンした6次産業化サポートセンターの開設した目的や運営を、どのように支援し6次産業化を活性化させていくのか。また特産である里芋「伊予美人」のブランド力向上への取り組みを行うのか伺います。

答弁 産業活力部次長、市長



三宅 繁博 議員

国の「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」を活用し、農産物を利用し加工品の製造・事業化へのチャレンジを積極的に後押しする目的で、「J A うま6次産業化サポートセンター」の設立に着手した。市・県・J A・利用部会役員で構成する「運営委員会」が運営し、連携してサポートすることとしている。里芋伊予美人をPRするため、話題性のある四国最大級の直径2メートルの大鍋を製作し、市内外に対し広く伊予美人と芋たきをアピールしてきた。本年10月には市長・J A うま組合長が先頭に立ち、京都・大阪中央卸市場での芋たき試食による宣伝、トップセールスを行ってきた。

その他の質問 ○有害鳥獣の対策について ○史跡の保護及びPRについて

◆医師派遣で地域医療を守る地域医療再生学講座は県負担での継続を求めるべき

質問 愛媛県は、愛媛大学医学部よりH I T O病院へ3名、四国中央病院へ1名の医師派遣がされている地域医療再生学講座の財政支援4,880万円を国の支援が切れることを理由に来年度より打ち切る方針であるが、あくまで県の負担での継続を求め、最悪でも応分の負担は求めるべきである。

答弁 副市長

地域医療再生学講座については、県及び大学から講座開設時に、また基金活用期間終了後については、診療支援を受ける病院等の費用負担により、おおむね10年間設置することが示されていたことから、平成31年度までの継続について、現在関係機関と協議を行っているところである。来年度以降の寄附金については、地域医療の維持確保のため、市としても一定額を負担し、診療支援先のH I T O病院及び四国中央病院からは、医師の人件費を基準にそれぞれ応分負担をいただくことで調整中である。



青木 永六 議員

その他の質問 ○来春の中学卒業生と市内県立高校の定員数等について
○空き家対策対応の現状と今後の取り組みについて

◆2016年4月からの電力小売全面自由化に伴う当市の取り組みと今後の対応について

質問 来年4月から電力の小売が全面自由化される。庁舎等市役所関連施設は平成17年に既に自由化されているが、これまで当市において、電力自由化に対応した施策や契約の見直し等を行ってきたか。また、今後市役所内に組織横割りの電気専門部局を置く考えは。

答弁 総務部長、企画財務部長

当市では平成24年度以降新電力事業者から新電力の導入の提案を受けたが、安定供給が低いと判断し導入には至らなかった。その一方で、平成25年度に「デマンド監視システム」を本庁舎に導入し、電気使用料の抑制に取り組んでいる。今後、安定供給が開かれるならばコスト面での効果は自明であるので、可能な施設から導入を検討したいと考えている。また、公共施設等のマネジメントを推進する総括的な部署の設置に加え、電気使用料の削減について、庁内を横割りに研究する部署についても検討したいと考えている。



吉田 善三郎 議員

その他の質問 ○当市のごみ行政に取り組む姿勢と考え方について

平成27年第4回 四国中央市議会定例会 議決結果一覧

番 号	件 名	議決結果
議案第89号	四国中央市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	原案可決
議案第90号	四国中央市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第91号	四国中央市コミュニティ住宅条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第92号	平成27年度四国中央市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第93号	平成27年度四国中央市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第94号	平成27年度四国中央市国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第95号	平成27年度四国中央市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第96号	平成27年度四国中央市公共用地先行取得事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第97号	平成27年度四国中央市介護予防支援事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第98号	平成27年度四国中央市後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第99号	平成27年度四国中央市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第100号	平成27年度四国中央市工業用水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第101号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第102号	土地の処分について	原案可決
議案第103号	四国中央市三島浄化センターの建設工事委託に関する協定の一部を変更する協定の締結について	原案可決
議案第104号	四国中央市監査委員の選任につき同意を求めることについて	同 意
認定第1号	平成26年度四国中央市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第2号	平成26年度四国中央市水道事業会計決算、四国中央市簡易水道事業会計決算及び四国中央市工業用水道事業会計決算の認定について	認 定
意見書第4号	憲法改正の早期実現を求める意見書について	原案可決
27年請願第5号	国民生活の安全・安心を支える国の行政機関等の体制・機能の充実を求める請願	継続審査
27年請願第6号	政府による米価下落対策を求める請願	継続審査
27年請願第7号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める請願	継続審査
27年請願第8号	「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現」を求める請願	継続審査

番 号	件 名	議決結果
27 年請願第 9 号	地域医療を守るため病床の確保を求める請願	継続審査
27 年請願第 10 号	「マクロ経済スライド」の廃止と最低保障年金制度の実現を求める請願	不 採 択
27 年陳情第 6 号	「四国中央市人権対策協議会の補助金」に関する陳情	不 採 択

各議員の議案に対する賛否の状況

※賛否の分かれた案件を記載しています。

○：賛成 ×：反対

氏 名 議案番号	石川剛	国政	大野	眞鍋	三好	後藤	山川	河村	三宅	谷内	篠永	山本	苅田	吉田	井川	原田	青木	石津	飛鷹	谷	曾我部	石川秀	越智	西岡	三谷
議 案 第 89 号	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
意 見 書 第 4 号	○	—	○	○	×	○	○	○	○	—	○	○		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
27 年 請 願 第 10 号	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○
27 年 陳 情 第 6 号	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○
27 年 請 願 第 1 号	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○
27 年 請 願 第 4 号	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	○

暮らしやすいまちづくり調査特別委員会が廃止されました

本委員会は、平成 25 年 12 月の第 4 回定例会において設置され、精力的に調査研究を進め、平成 27 年 9 月議会で、当議会初の政策的議員提案条例である「四国中央市快適で美しいまちづくりの推進に関する条例」（平成 28 年 1 月 1 日から施行）を上程し、全会一致で可決され、所期の目的を達成しました。

その後、平成 27 年 12 月の第 1 回臨時会において、石津委員長より、一定の成果を上げることができたと調査終了の報告があり、廃止されました。



※条例の啓発活動の様子

地域産業創生特別委員会が設置されました

本委員会は、これからの人口減少社会に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある四国中央市を維持するために、当地域の強みである「産業」を生かした施策を強力に推進することを目的として、平成 27 年 12 月の第 1 回臨時会において、設置されました。



本会議での発言を記録した 12 月臨時会、12 月定例会の『会議録』を、3 月上旬に市役所本庁、各庁舎及び図書館に備えます。

また、四国中央市議会ホームページにも全文掲載しており、検索も可能ですのでごらんください。

議会を傍聴してみませんか！?

本会議及び委員会は原則として公開していますので、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、本会議及び委員会当日に、市役所 5 階で傍聴人受付簿に氏名、住所を御記入の上、傍聴してください。また、本会議の様子は市役所 2 階ロビー及び各庁舎、ケーブルテレビ、インターネットで生中継をしています。

四国中央市 議会中継

検索

〔12 月定例会の委員会の委員長報告をケーブルテレビで放送しています（放送時間等は不定です）。〕

常任委員会の審査概要

※紙面の都合上、質問は抜粋しています。
※委員会の概要をケーブルテレビで放送中。

総務委員会

◎三宅 繁博
石津千代子

○石川 剛
西岡 政則

三好 平

荻田 清秀

◎委員長
○副委員長

●議案第 92 号「平成 27 年度四国中央市一般会計補正予算（第 4 号）」所管分

質問 選挙人名簿システム改修費補助金にかかる 18 歳、19 歳の人数はそれぞれ何人であるか伺う。

答弁 5 月 31 日現在、18 歳は男 459 名、女 426 名、合計 885 名であり 19 歳は、男 432 名、女 377 名、合計 809 名である。

質問 生活交通バス路線維持・確保対策事業について伺う。来年度は予算的にはどのようなになるのか。

答弁 生活交通バス路線維持・確保対策事業は前年の 10 月から 9 月までの運行に対しての補助金であるので毎年度 12 月補正の対応となる。

今回の補正額は、平成 26 年の 10 月から平成 27 年 9 月までの実績に基づくものである。平成 28 年度の対応は、同じく平成 27 年 10 月から平成 28 年 9 月までの実績に基づく対応となる。額についてはこの 2、3 年は 2,300 万円から、2,600 万円で推移している。

質問 ふるさと納税について他自治体では何億円の増収となった等前向きに取り組んでいるが、一般質問では、あまり過激な対応はしない等のことであった。やはりふるさと納税はありがたいことでありもっと PR 活動をしていくべきではないのか。

答弁 ふるさと納税が貴重な財源であるとの見解については御指摘のとおりである。市としては、記念品の豪華さを競うのではなく、寄附いただく際の敷居を低くすることを第一に対応している。9 月からクレジット入金の対応、またこれまではファクスでの申し込みであったがホームページ上の直接入力フォームでの申し込みを可能とした。これ以降件数が伸びており効果があったものと考えている。また、9 月から J A うまに御協力をいただき特産品に里芋伊予美人を加えたところ好評を得、リピーターとなっていたいただいた方もおり、これも件数が伸びてきている要因と考えている。今後とも増額できるよう、こういった取り組みを続けたい。

教育厚生委員会

◎谷内 開
河村 郁男

○山川 和孝
篠永 誠司

大野 勝
三谷つぎむ

後藤 光雄

◎委員長
○副委員長

●議案第 92 号「平成 27 年度四国中央市一般会計補正予算（第 4 号）」所管分

質問 障害児通所扶助費の増額について、詳細を伺う。

答弁 児童発達支援費については、現在、児童発達支援と放課後等デイサービス事業においてサービスを提供している。児童発達支援については 4 事業所で定員 60 名、放課後等デイサービスは 5 事業所で定員 50 名である。このたび、妻鳥町に放課後等デイサービス事業所が開設されたことに伴い、上半期 300 名から下半期 330 名への利用者増加の見込み修正によるものである。

質問 小学校施設耐震化事業の仮設校舎借上げ料の減額理由について伺う。

答弁 仮設校舎については、三島小学校の東及び北校舎を合わせて耐震化することに係るものである。仮設校舎を西向きに設置する予定であったため、エアコンの整備を予定していたが、工事の工程により 2 学期から仮設校舎に移ることになったことに加え、残暑も厳しくなかったことから、エアコン整備が不要となったことによる減額である。
なお、解体撤去工事については、仮設校舎の撤去及び整地等に係る費用である。

質問 生活保護費の増額補正 1 億 3,100 万円について、被保護世帯数の増加等によるものと思われるが、詳細を伺う。

答弁 当該増額補正については、扶助費増加の試算を積算したものである。その内訳として、生活扶助費及び住宅扶助費が 1,480 万円、医療扶助費が 1 億 1,470 万円、介護扶助費が 150 万円の増額試算である。当該増額試算については、被保護世帯の増加も要因の一つであるが、本年 7 月から施行されている生活保護費の基準改定により、冬期加算や住宅扶助費等が増額されていることも影響している。

●議案第 101 号「公の施設の指定管理者の指定について」

質問 臨時職員賃金が 500 万円減額となっており、介護予防支援委託料が焼く 320 万円増額となっているが、これは臨時職員の減少に伴うものであるのか伺う。

答弁 委員御指摘のとおりで、現在職員 12 名体制で業務に当たっているが、4 名が欠員状態となっている。欠員分のケアプラン作成料を居宅支援事業所に委託していることから、委託料の増額となっているものである。

常任委員会の審査概要

※紙面の都合上、質問は抜粋しています。
※委員会の概要をケーブルテレビで放送中。

環境経済委員会

◎原田 泰樹 ○国政 守 吉田善三郎 ◎委員長
青木 永六 飛鷹 總慶 曾我部 清 ○副委員長

●議案第 89 号「四国中央市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について」

質問 適切に運用されているかどうかお互いに監視をする必要があると思う。そういう方向性はないのか伺う。

答弁 マイナンバー制度施行にあわせたものではないが、当市の業務に係る個人情報の取り扱いについては、数年前より情報セキュリティに関する会議を設置し、適正な管理を図るよう設備も整備している。また、職員用パソコンについても、外部媒体に個人情報等をコピーできないような措置をとっている。

●議案第 92 号「平成 27 年度四国中央市一般会計補正予算（第 4 号）」所管分

質問 観光費、霧の森整備事業の橋りょう補修工事は完了したと考えるが、なぜ補正予算を計上しているのか。

答弁 玉水橋の補修については、目視点検により予算を計上していたが、実際の補修工事に際し詳細な検査を実施したところ、床版を固定する材料や給水管等に劣化・損傷が認められたため、追加予算が必要となったものである。また、欄干の照明を計画しているが、電線の電気容量が不足しているため、近くの分電盤からの引き込み作業や主塔から橋につながっているケーブルのさや管に雨水の流入が確認され、止水工事が必要となったため追加施工するものである。

質問 捕獲謝礼で 64 万円計上となるが、どのような基準なのか。また、今年から体制強化し施策的にも頑張っているが体制強化による実績について伺う。

答弁 64 万円の増加については、1 頭 1 万円の謝礼となる。体制強化については、今年度から農業振興課に有害鳥獣対策係りを新設している。従来、農林水産課と農業振興課それぞれ事務を行っていたが春から実施したことにより、迅速に有害鳥獣捕獲の許可等については対応を行えていると考える。成果は、これまでの 10 月の比較だが、今年度 10 月現在 231 頭を捕獲しており、26 年度 199 頭、25 年度 70 頭、24 年度 85 頭と体制強化によりスムーズな捕獲が行われている。

建設水道委員会

◎石川 秀光 ○眞鍋 幹雄 山本 照男 ◎委員長
井川 剛 谷 國光 越智 滋 ○副委員長

●議案第 92 号「平成 27 年度四国中央市一般会計補正予算（第 4 号）」所管分

質問 JR伊予三島駅南口駐輪場整備事業の平成 28 年当初予算で要求している工事費はいくらで、どの程度の規模か。また、元々地元の自治会から出てきた話であるが、いつごろ住民説明会を開催予定であるか。

答弁 工事費は、約 2,000 万円計上予定である。やまじ風でも倒れないようなタイヤを止める柵ラックを付けて、自転車 170 台が止められるものを計画している。また、現在既定予算の中で設計をしているが、それができてから、実際に管理をする産業支援課と協議した後に、説明会を持つ予定である。



※伊予三島駅南口

質問 土木総務費の時間外勤務手当の関係で、月に 100 時間を超えて残業している人もいる。国の指針では、残業は 50 時間までとなっているがいかがか。

答弁 当然、人事課にも技術者を採用してもらうよう要求はしているが、近年は、大学の学部においても土木を専攻している人は少なく、土木技術者の絶対数も少ない。また、建設課において時間外が多くなっているが、建設部の中で、時間外が多い課から少ない課へ仕事を回すワークシェアを行っており、統計的にも時間外は減ってきている。

質問 木造住宅耐震の関係だが、件数と補助はどのくらいか。

答弁 木造住宅の耐震補助関係は、耐震診断が平成 17 年より始まって昨年までに 39 件あった。耐震改修工事は、平成 23 年より始まり、設計が 11 件・工事監理が 9 件・工事が 10 件となっている。

また、補助金については、耐震診断が最高 3 万 5,000 円、工事に関しては、設計が最高 20 万円、工事監理が 4 万円、工事は 90 万円となっている。

質問 江之元地区再開発事業の進捗率と、今後の計画はどのようになっているか。

答弁 進捗率は、平成 26 年度末で 69%である。東西線・大通り線・新開線の 3 つが幹線道路であるが、平成 30 年度を目標に整備していきたい。それ以降の計画については、来年住民アンケートを実施するなどして決定していきたい。

～政務活動費を活用して活気のあるまちづくりを目指して～

四国中央市議会の考える政務活動費制度（案）をご紹介します。

◆交付対象◆

議員個人

◆交付額◆

一人当たり月額 20,000 円

※残余が生じたときは、返還の対象になります。

●政務活動費制度とは

地方分権一括法の施行により、自治体の自主的な決定と責任の範囲が拡大しました。

このような中、議会の活性化を図り、議会の審議能力を高めるためには、議員の調査活動基盤の強化を図る必要があるという観点から、議員の調査研究その他の活動に資するために必要な経費の一部を交付する政務活動費制度が地方自治法に定められました。

◇政務活動費を充てることができる経費の範囲◇

①調査研究費	調査研究に要する宿泊費等の経費並びに調査研究に要する経費
②要請陳情活動費	要請陳情活動に要する交通費等の経費
③広報広聴活動費	議会活動、市制に関する政策、調査研究、要請陳情活動等を市民に周知する広報活動並びに市民からの要望、意見書等を聴取するための広聴活動に要する経費
④研修費	調査研究、要請陳情活動及び広報広聴活動に資する会議、研修会、意見交換会等の実施及び参加に要する経費
⑤資料購入費	政務活動のために必要な資料（書籍、新聞、雑誌等）の購入及び購読に要する経費

※上記の経費のほか、全国の自治体で一般的に採用されている人件費や通信費、事務所費等は対象外としています。また、市民の皆様への説明責任の明確化を目指し、疑義を生じかねないと考えられる用途や経費の按分は経費の範囲から除外することとし、全国的に見ても厳格で透明性に特化した内容となっております。

※詳細につきましては、四国中央市議会のホームページでもご確認いただけます。

◇政務活動費の充当を認めない経費の例◇

ガソリン代や飲食代、電話代、インターネット代などの経費は認めないこととしています。

◇今なぜ、四国中央市議会に政務活動費が必要なのか？◇

問 なぜ、四国中央市に必要なのか。

答 四国中央市議会では、二代表制のもと地方分権時代にふさわしい市議会を目指し、市民の多様な意見等を把握し、議員の政策立案能力を強化し、政策提案できる議会にすることが大切であると考えます。また、議員の責任や活動範囲が拡大しており、議員活動の高度化、専門化が求められている中で、政務活動費制度を活用し、議員の資質向上を図り、一層の議会活性化につなげることが、市民の福祉向上・利益につながるものと考えます。

問 各地で政務活動費の不適切な支出が問題になっている中で、なぜ今検討するのか。

答 政務活動費に関する問題が報道され、関心が高まっている今こそ、制度の原点に立ち、説明責任の明確化を目指し、できる限りの透明性の確保に努めています。当市議会では、後発ならではの利点を生かした、厳格で透明性に特化した政務活動費の交付制度を検討しています。